

(別添)

令和7年度 長崎県立北松農業高等学校

# 学 校 評 価 表

教育方針	長崎県教育方針に基づき、高等普通教育と農業・家庭に関する専門教育を施し、道徳教育を通して、誠実な人間性と自然を大切にする心を培い、また我が国及び郷土の発展に寄与するとともに、国際社会に貢献できる調和のとれた人間の育成を目指す。	教育目標	①志を持ち、自ら学ぶ態度を育て、基礎的な学力と考える力を身につけさせる。 ②農業・家庭に関する専門的知識と技術を習得させ、実践力を身につけさせる。 ③生命を慈しむ豊かな心と健康な身体を育てる。 ④国や郷土、母校を愛し、責任と礼節を重んじ、協同・奉仕の精神を養う。
------	---	------	--

※ 4 十分に達成している 3 おおむね達成している。 2 不十分 1 殆ど達成していない

1 学校経営 「全職員が共通の理念に立った学校経営の参画における教育的成果の評価」 ※( )は、令和6年度評価値

評価項目	具体項目	目 標	具 体 的 方 策	中間	総括	成果と課題
①経営方針	経営方針・教育目標の具現化	経営方針を学校の内外に明確にし、教職員の共通理解のもと教育活動を行う。	学校の経営方針・教育目標を意識した教育活動を実践している。	3.1 (3.0)	3.2 (3.1)	成果：年間を見通した継続的な教育活動については、全体の流れを意識しながら概ね実践できている。 課題：依然として募集定員に満たない状況が続いており、入学志願者をいかに増やしていくかが今後の大きな課題である。そのためには、これまで以上に本校の特色や魅力ある教育活動の内容を、外部に向けて積極的かつ効果的に発信していくことが重要であると考え。
			学校の経営方針や目標を生徒・保護者、地域社会に示すとともにHPや学校新聞等で広報している。	2.9 (2.9)	3.2 (3.1)	
②農務部目標	アクションプランの2025の推進	アクションプランに沿った取り組みを行う。	5つの基本方針にともなった実践を行っている。	3.0 (3.0)	3.1 (3.1)	成果：学校間連携や地域イベント等にも積極的に参加できている、地域交流の拠点としての役割は十分に果たしている。 課題：今年度、小中学生とその保護者を対象に「北農体験講座」を計画したが、応募が少なく実施できなかった。次年度は「成人大学講座」を計画し更なる地域貢献に努めたい。
③学年経営	教育目標の推進	教育目標に沿った経営を行う。	教育目標・学年目標の生徒への浸透を図り、目標達成のための教育活動を展開する。	3.1 (2.9)	3.2 (3.0)	1年：LHRや学年集会を利用して、目標を意識した学校生活を送るよう指導を行った。

④学級経営	学年目標の推進	学年目標に沿った経営を行う。	学級目標の実現を図るとともに生徒が自己目標に沿った学校生活を送れるように支援する。	3.0 (2.9)	3.2 (3.0)	利他的な精神と基本的な生活習慣を身につけることができるような指導を引き続き行う必要がある。 2年：学年団の協力により、修学旅行に全員参加することができた。学力や容儀面、生活態度において指導が必要な生徒が若干名いるので、3学年進級に向けて進路意識を高めながら指導していきたい。 3年：一部、遅刻・欠席が多い生徒や指導が必要な生徒が出るなど、卒業後を見据えての意識付けが、最後まで必要である。しかし、全体としては、多くの先生方のご指導により三年間で成長し、進路実現を果たすことができた。
-------	---------	----------------	---	--------------	--------------	---

2 教育活動－1 「教育活動全般における計画的、組織的な教育成果の評価」

評価項目	具体項目	目 標	具 体 的 方 策	中間	総括	成果と課題
①教科指導	学力の向上	基礎学力の向上と家庭学習の定着を図る。	家庭学習の課題を与え、小テストを行うとともに検定や資格取得を奨励する。	3.0 (2.9)	3.1 (2.9)	成果：定期的に課題を与えることで家庭学習の機会を設けて、取り組むことができた。図書部による図書館だよりの定期的な発行も図書館利用につながっていると感じる。 課題： 教科によって課題にばらつきがある。長期休業中以外の定期的な課題も必要。検定・資格取得について積極性が足りない。
			朝の10分間読書の指導・励行および学校図書館の活用を奨励している。	3.2 (3.0)	3.3 (3.1)	
	評価と指導の一体化	教職員の共通理解のもと適切な評価を行う。	担当教師間で評価基準を話し合い、共通理解のもとで評価を行っている。	3.1 (3.0)	3.3 (3.1)	成果：概ね評価基準についての共通理解はできていると感じる。習熟度別授業など定期考査後にグループ分けを検討している教科もある。 課題： 一部教科において不十分な点がある。教科内での観点別評価について協議が必要。
			評価はその後の授業にフィードバックし、生徒の実態に応じた授業の工夫改善に努めている。	3.1 (3.0)	3.2 (3.0)	
②総合的な探究(課題研究)代替	総合的な学習の推進	学習指導要領のねらいを踏まえ学校の特性を生かした活動を展開する。	総合的な探究の時間のねらいに沿った課題研究を展開している。	3.1 (3.0)	3.2 (3.0)	成果：各学科の特性、生徒の興味関心を活かした研究を進めることができています。 課題：1人1台パソコンを効果的な活用が課題。生徒の自発的な活用を促す取り組みと、屋外において不便さを解

						消するハード面の改善が必要。
③特別活動	計画的な活動の遂行	学校学年の教育目標に沿った年間計画により活発な活動を展開する。	年間計画に基づき事前準備を行い各種行事運営、全校集会を展開し活発なホームルーム活動を行っている。	3.2 (3.0)	3.3 (3.0)	成果：生徒の自主性を伸ばすためのP D C Aによる実施や、事前準備に時間をかけることで様々な行事を実施できた。校内委員会の活動も多くの行事で見られた。 課題：クラス独自のLHRの時間が学年によって十分にとれていない。行事の精選が必要。
	自発性の涵養	生徒の自発的自主的な活動を推進する。	行事運営・委員会活動に積極的な関わりを持たせることで、生徒の自発性・自主性を涵養するとともに活発な活動を展開する。	3.1 (2.9)	3.2 (3.0)	
	活動環境の整備	学校行事を充実させる。	学校生活の充実と発展に資する効果的な学校行事になるよう活動内容を工夫し見直しを行う。	3.2 (3.0)	3.2 (3.1)	
④道徳教育	心の教育の推進	生徒たちの規範意識の高揚と公共心を養っていく。	特別活動や学校行事、農業クラブ活動等を活用して生徒の心の教育を進める。	3.1 (3.0)	3.2 (3.0)	成果：各行事の運営に生徒が関わることで、他者への感謝の気持ちなどが養われていった。 課題：一部生徒ではあるが、乗車マナーや器物破損といった事例もあった。様々な場面で問いかけ、判断し実行できる心の育成が必要。また、躰教育は職員だけで行えるものでもないため、保護者等との協力体制も再構築する必要がある。
	自覚を深める生徒指導	人間としての基本的マナーやルールを守る気持ち、善悪の判断ができる生徒を育成する。	容儀指導やバス・MRの乗車指導、校内外巡視等とおして、全教職員が生徒に対して躰教育を行う。	3.1 (2.9)	3.1 (3.0)	
	教科の特性を生かした道徳教育	教科の特性を生かして、それぞれの分野で道徳心を植え付ける教育を推進する。	個々の授業時間厳守や開始時の挨拶励行、また教科内容の特性を生かした命の大切さ、モラル向上などの教育を行う。	3.0 (2.9)	3.2 (3.0)	

## 2 教育活動－2 「教育活動全般における計画的、組織的な教育成果の評価」

評価項目	具体項目	目 標	具 体 的 方 策	中間	総括	成果と課題
①生徒指導	規範意識の醸成	基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上を図る。	授業をはじめ、学校教育活動全体を通じ、又職員や保護者との連携をおしてきめ細かな指導を行う。	3.1 (2.9)	3.1 (3.0)	成果：特別指導12件、13名指導。特に器物損壊や暴力が増加。窃盗事案は4件発生。学年・全体でも協議し、注意喚起の文書発行、事務に貴重品保管ロッカーを設置してもらうなどの対応をした。 課題：暴力や器物損壊、窃盗への対応として、警察への協力要請が必要。学校なら許されるという風潮があり、犯罪行為の認識を持たせる必要がある。支援を要する生徒の特別指導の方法を専門機関に相談し、検討する必要がある。
	危機管理体制の整備	安全教育の充実。	安全な教育環境作りに努めるとともに、組織的危機管理体制を整える。	3.1 (2.9)	3.2 (3.0)	
②進路指導	進路意識高揚	進路意識の向上。	校内模擬試験の実施。各種講演会や			成果：農業大学校への進学3名。就

			学校説明会等への参加を通して早期から進路に対する意識を向上させる。	3.1 (2.9)	3.1 (3.0)	職はCSSによる企業訪問や細やかな生徒対応によって、県内の様々な企業で内定を得ることができた。本人の希望する県外企業への就職も増えた。まだ就職未内定者が若干いるが、それぞれ現在進行形で準備をしている。校内外の進路ガイダンスや説明会を実施し、1・2年生への進路行事や情報提供も充実している。 課題：①就職試験での学科試験・適性検査への対応。②校内進路検討会の見直し。③ジュニア・オープン・カンパニー実施の拡充。
	就職対策	就職指導の強化。	生徒が望ましい勤労観や職業観を持てるよう指導するとともに生徒の適性に合う企業を紹介する。	3.1 (2.9)	3.1 (2.9)	
	進学対策	進学指導の強化。	生徒の興味や適性に応じた将来の職業を考えた上での進学指導を行う。そのための特別な学習プログラムを設定する。	2.8 (2.8)	2.9 (2.8)	
	就農対策	農業自営指導の強化。	農業大学校等担い手養成機関での研修、先進農家への委託実習の参加、就農希望生徒への情報提供など指導強化に努める。	2.9 (2.9)	3.0 (2.9)	
③教育相談	悩み対応	カウンセリングの充実を図る。	悩みを抱える生徒に対する教育相談を適切に行う。	3.3 (3.1)	3.6 (3.2)	成果：スクールソーシャルワーカーの新入生全員の面談を実施し、相談しやすい環境づくりと教職員との情報共有で、早期対応に繋がった。 課題：生徒だけでなく保護者にとっても相談しやすい環境づくりを目指したい。
			保護者の悩みや相談に親切に対応する。	3.2 (2.9)	3.4 (3.0)	
④健康・安全 教育	健康管理と安全意識の啓発	健康・安全についての思考力と判断力を育て、意志決定する力を育てる	自分の心身の健康状態を把握し、問題を改善できる実践力を身につけさせる。	3.0 (2.9)	3.1 (2.9)	成果：常に関係職員と情報共有を行う事で、生徒の心身の健康状態を把握し、早期に対応できた。また、安全面においても細やかな対応ができた。 課題：生徒の健康意識を向上させ、自己管理が出来るよう育成する。
			健康・安全活動の中心となる保健室の活用のしかたを身につけさせる。	3.1 (3.0)	3.1 (3.0)	
			保健だよりや講話により「健康教育」を推進する。	3.3 (3.1)	3.4 (3.3)	
			感染症予防に対する正しい知識を身につけさせ、感染予防に努めさせる。	3.1 (3.1)	3.3 (3.1)	
⑤人権・同和教育	同和教育の推進	人権問題に対する意識を持たせて解決するための実践力を身に付けさせる。	人権尊重の視点で教育活動を展開し、生徒に人権課題を解決しようとする態度を養う。	3.1 (2.9)	3.1 (3.0)	成果：人権教育を通して他者を思いやる気持ちを持つ大切さを醸成できた。 課題：他分掌と連携を取りながら人権教育（特にいじめ問題）を進めていく必要がある。
⑥心の教育	いじめの抑止	思いやりの心を育成する。	心の教育の推進に向けて意識の高			成果：クラスに掲示する「いじめ撲

			場を回り、分掌・学年等の連携を密にして教育活動全体を通じて指導する。	3.2 (3.0)	3.1 (3.0)	減宣言」を作成した。 課題：自分の言動が周囲に嫌な思いをさせていることに気づかない生徒への指導。
⑦特別支援教育	特別支援教育の推進	対象生徒への支援方法や技術等について研鑽を深める。	特別支援教育について校内研修を行うとともに、対象生徒の支援について教職員間の連携を密にする。	3.2 (3.0)	3.4 (3.0)	成果：北松分校の先生方に講師をお願いして、特別支援の職員研修を行った。 課題：敷地内に北松分校がある環境を生かし、北松分校との連携を密にして、研修等を計画していきたい。
⑧部活動	部活動の推進	各部活動を通じて、生徒の個性や能力等の伸張に努める。	部活動への参加を奨励し、生徒は活発な活動を行う。	2.7 (2.7)	3.0 (2.8)	成果：軟式野球部夏・秋大会九州大会出場。相撲部新人九州大会出場。農ク県連大会意見Ⅲ、平板測量・最優秀等。 課題：部活動の活性化のためにも生徒数と職員数のバランスを考慮した今後の部活動数の検討が必要である。
			部活動を通じて、生徒が達成感を持ち、好ましい人間関係づくりや個性の伸長を図ることのできるよう指導する。	2.8 (2.8)	3.0 (2.8)	

### 3 組織運営 「教育活動の円滑化、教師集団の共同性に関わる教育的成果の評価」

評価項目	具体項目	目 標	具 体 的 方 策	中間	総括	成果と課題
①校務分掌	組織体制の機能化	各自の役割分担が明確で適切に仕事を処理する。	分掌、学年、教科等の役割分担と連絡調整を適切に行い学校全体の業務を円滑に実施する。	2.9 (3.0)	3.1 (2.9)	成果：職員相互の連携が図られ、情報共有や協力体制のもと、各種行事や学校運営を滞りなく実施することができた。 課題：働き方改革を推進する中で、行事の精選や会議の効率化、部活動の在り方の見直しなど、より効果的な取組を計画的に進めていく必要がある。
②各種委員	各種委員会の活性化	各種委員会の活動の効率化と活性化を図る。	各委員会での結果が教育活動や学校経営等に生かされている。	2.9 (2.9)	3.1 (3.0)	成果：体育委員中心のクラスマッチの実施、風紀委員による校則についての議論、保健委員の農文祭での展示、図書委員の日々の活動など各委

						員会工夫を凝らした活動をする ことができた。 課題：各種委員会の活動内容・状況 が全体に周知できていない面があ る。校内における広報活動等に力を入 れ、より深化した活動に繋げるよう 指導していきたい。
③校内研修	教職員の資質向上	教科指導力、生活指導力等を向 上させるため、校内研修を実施 する。	研究授業・授業参観等の機会を設け るなど、全職員による校内研修を行 い指導力の強化を図る。	2.8 (2.8)	3.0 (2.9)	成果：1学期に実施した公開授業は 例年より多くの先生に参加いた だくことができた。また、校外で行わ れた人権研修については、研修報告 を行うことができた 課題：公開授業については、より効 果的な実施方法の検討が必要であ る。
			校外研修の成果を教職員に伝達し 知識の共有に努めている。	3.0 (2.8)	3.0 (2.9)	

4 教育環境 「学校の置かれている条件や環境に関わる教育的成果の評価」

評価項目	具体項目	目 標	具 体 的 方 策	中間	総括	成果と課題
①環境整備	美意識の高揚	学校環境の美化意識を高め自然 環境を守る態度を養う。	清掃活動に積極的に参加させる。	3.0 (3.1)	3.1 (3.1)	成果：先生方の日頃のご指導のおか げで、生徒の美化意識が向上し、校 内美化に努めることができた。 課題：掃除用具の入れ替え・補充。 割り当てができていない教室の清 掃。
			ゴミの分別を徹底させるとともに エコ活動を推進する。	3.1 (3.1)	3.2 (3.2)	
②施設・設備 の管理	施設設備の維持管 理	施設設備の効率的な維持改修と 安全管理に努める。	施設設備の定期的な安全点検や補 修を行う。	3.2 (3.0)	3.3 (3.0)	成果：年度当初の普通教室棟トイレ 全面改修で生徒・教職員には大変迷 惑をかけたが、施工業者と打ち合わ せを重ね、予定よりも早い時期に完 成を迎えることができた。施設の小 修繕についても、限られた予算の中 で効果的な執行ができたと感じる。 課題：昨年に引き続き、夏の酷暑で エアコン使用量が増えた結果、電気 代の高騰は避けられなかった。日常 使用する電気等をこまめに節電す ることを心掛け、少しでも使用料を 減らすよう、次年度は節電呼びかけ を行いたい。
		電気使用料を前年度比で2%削 減する。	電灯、エアコン等の節電に努める。	3.0 (3.0)	3.1 (3.0)	
③情報インフ ラの整備・	業務の効率化	パソコン等で校務を適切に処理 する。	パソコンによる校務処理を推進し、 データの共有化を図る。	3.1	3.2	成果：Webページでは、学校行事や 授業風景などを配信することがで

充実				(3.0)	(3.1)	きた。また、教務部でインスタグラムへの投稿をしていただいた。 課題：各教科・学科で更新回数に偏りがあった。これを解消する必要がある。
	学校情報の発信	Webページを見やすくし、定期的に更新を行う。	Webページを毎月更新し、学校情報の積極的発信を行う。	2.9 (2.8)	3.0 (2.8)	

## 5 開かれた学校

評価項目	具体項目	目 標	具 体 的 方 策	中間	総括	成果と課題
①保護者や地域・関係機関との連携	保護者との連携強化	生徒の問題点を相互に共有する。	生徒の状況について、保護者と緊密に連携を取り相互に情報提供を行う。	3.2 (3.1)	3.2 (3.1)	成果：80周年記念文化祭に伴うPTA保護者の積極的な参加があった。保護者との連携を密にした。卵をはじめとした農産物を地域の市場や小学校などに販売し、地域に根差した取り組みを行っている。動物触れ合いなど活発に活動している。 課題：保護者によって学校関係行事への参加意欲に差があり、積極的な参加が一部の保護者に限られている。今後、保護者全体による取り組みへの工夫が必要である。
	PTA活動の推進	保護者の来校機会を増やす。	公開授業や施設見学、体験学習、生徒発表会等、保護者が来校する機会を設ける。	3.1 (3.0)	3.1 (3.0)	
	積極的な学校PR	学校の情報を発信する。	学校の教育活動を月1回を目途にマスコミ等への広報に努める。	2.7 (2.9)	3.0 (3.0)	
	開かれた学校の推進	地域住民や地域の学校に学校を開放する。	県民大学やキッザニアの実施、地域の小・中学校及び特別支援学校の体験学習を積極的に実施する。	3.1 (3.1)	3.1 (3.1)	
	学習成果の公開	学習の成果を地域に公開する。	学校農産物の地域販売や学校給食への供給、研究活動発表等、学習成果をアピールする。	3.1 (3.0)	3.3 (3.1)	

## 【総 評】

評 価 の 結 果 (課題と問題点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 家庭学習の習慣定着と共通評価の確立を図るとともに、生徒が主体的に学ぶ授業展開の実践。</li> <li>② 生徒への進路意識の早期向上と勤労観や職業観の強化。自営指導を含めた県内就業の魅力強化。</li> <li>③ 教育活動の充実と生徒の学びの保障を図るためのICT機器活用の一層推進していく。</li> <li>④ 多様な生徒への生徒指導上の問題やSNS等からの問題への対応の強化。</li> <li>⑤ 志願者確保に向けた学校PR活動のさらなる充実、中学校への訪問等をはじめとする本校の魅力の発信強化。</li> </ul>
来 年 度 の 改 善 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 効果的な取組を取り入れつつ、行事の内容や運営方法の見直しを進めていく。</li> <li>② 校内進路検討会の運営方法を見直すとともに、ジュニア・オープン・カンパニーの実施を拡充する。また、キャリアサポートスタッフによる生徒への積極的な県内就職支援を一層強化していく。</li> <li>③ ICT機器を活用した授業展開に関する職員研修を実施するとともに、生徒の家庭学習習慣の定着を図る指導を一層強化していく。</li> <li>④ 共通理解を深めるための職員研修を充実させるとともに、民間企業を活用した連携事業の実施・拡充を進めていく。</li> <li>⑤ 定員確保を目指し、本校の魅力を広く伝える効果的な学校PR活動を一層強化していく。</li> </ul>

## 令和7年度 学校評価アンケート【生徒】集約結果

※各項目の評価基準は、次のとおりです。

長崎県立北松農業高等学校

<4:よくあてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない>

評価項目	No	具体的な評価内容	R6 平均	1学年 平均	2学年 平均	3学年 平均	R7 平均	対前年 変化
教育活動全般	1	北松農高に入学してよかったと思う。	3.3	3.6	3.2	3.3	3.4	↑
	2	学校は、教育方針や学年・学級目標を示してくれる。	3.2	3.3	3.1	3.2	3.2	→
	3	先生方は、あいさつするとあいさつを返してくれる。	3.5	3.6	3.3	3.5	3.5	→
	4	先生方は授業で、基礎学力が向上するように努力してくれる。	3.4	3.5	3.4	3.5	3.5	↑
	5	先生方は、家庭学習のための課題を出してくれる。	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1	↓
	6	学校での実験・実習は自分にとって将来役に立つと思う。	3.3	3.5	3.2	3.5	3.4	↑
	7	学校は、資格取得の指導に熱心である。	3.4	3.4	3.4	3.3	3.4	→
	8	テストの得点以外の面からも学習の評価がされている。	3.4	3.6	3.5	3.6	3.6	↑
	9	学校は、校則や社会のルールを守るよう熱心に指導している。	3.5	3.4	3.6	3.6	3.5	→
	10	学校は、進路実現のため熱心に取り組んでいる。	3.5	3.4	3.5	3.8	3.6	↑
	11	学校は、悩みや相談に親身になって対応してくれる。	3.3	3.3	3.4	3.2	3.3	→
	12	学校はいじめのない環境作りのため指導を続けている。	3.3	3.3	3.2	3.3	3.3	→
	13	学校は、部活動や各種コンテスト等の指導に熱心である。	3.4	3.5	3.3	3.1	3.3	↓
	14	学校は、読書指導に熱心である。	3.1	3.0	3.1	3.2	3.1	→
生徒活動	15	学校の雰囲気が良く、学校生活は楽しい。	3.2	3.3	3.2	3.0	3.2	→
	16	意欲的に学習に取り組んでいる。	2.9	3.0	3.1	2.9	3.0	↑
	17	自己目標を持って学校生活を送っている。	2.9	2.9	3.1	3.0	3.0	↑
	18	自分から進んであいさつをしている。	3.3	3.3	3.3	3.5	3.3	→
	19	校則を守り、高校生らしい身だしなみをしている。	3.4	3.3	3.3	3.4	3.4	→
	20	朝の10分間読書はしっかり取り組んでいる。	3.5	3.3	3.5	3.5	3.4	↓
	21	日ごろから健康管理に努めている。	3.1	3.0	3.3	3.2	3.2	↑
	22	省エネを理解し、節約・節水に努めている。	3.2	2.9	3.2	3.1	3.1	↓
	23	災害時や緊急時には、どのようにすればよいか知っている。	3.2	2.9	3.2	3.1	3.1	↓
環境教育	24	学校や農場は、きれいに清掃されている。	3.3	3.4	3.3	3.2	3.3	→
	25	学校は、危険箇所等への配所があり安全である。	3.4	3.5	3.3	3.5	3.4	→
学れ開校たか	26	農場では、地域の住民や児童・生徒との体験学習の機会が多い。	3.0	2.9	3.1	3.1	3.0	→
	27	学校は、ボランティア活動の推進に積極的である。	3.1	2.9	2.9	3.1	3.0	↓
その他	28	授業以外に1日30分以上学習している。	2.2	2.1	2.1	1.8	2.0	↓
	29	家庭では、あいさつ礼儀・マナーなどについて注意される。	3.0	2.9	2.8	3.0	2.9	↓
	30	朝食を食べている。	3.4	3.2	3.3	3.2	3.2	↓
	31	夜は12時前に寝ている。	2.9	2.8	3.1	2.9	2.9	→
在籍数			181	72	62	54	188	/
回答数			162	68	58	53	179	/
回答率(%)			89.5	94.4	93.5	98.1	95.2	↑

## 令和7年度 学校評価アンケート【保護者】集約結果

※各項目の評価基準は、次のとおりです。

長崎県立北松農業高等学校

<4:よくあてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない>

評価項目	No	具体的な評価内容	R6 平均	1学年 平均	2学年 平均	3学年 平均	R7 平均	対前年 変化
教育活動全般	1	本校に入学させてよかったと思う。	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	→
	2	学校は、経営方針や育てたい生徒像を示している。	3.3	3.3	3.3	3.4	3.3	→
	3	先生方は、よくあいさつをしてくれる。	3.5	3.4	3.5	3.4	3.4	↓
	4	子どもは、授業がわかりやすいと言っている。	3.1	3.1	2.9	3.1	3.0	↓
	5	先生方は、家庭学習のための宿題を与えてくれる。	3.0	3.1	2.8	3.1	3.0	→
	6	学校での、実験・実習は子どものためになっている。	3.6	3.6	3.5	3.6	3.6	→
	7	学校は、専門高校として適切な実験・実習や職業資格取得の指導に努めている。	3.6	3.5	3.5	3.5	3.5	↓
	8	テストの得点だけでなく、いろいろな面から学習の評価がなされている。	3.5	3.5	3.3	3.6	3.5	→
	9	学校は、校則や社会のルールを守らせようと指導している。	3.4	3.3	3.3	3.6	3.4	→
	10	学校は、生徒の進路実現のため適切な指導している。	3.4	3.3	3.2	3.5	3.3	↓
	11	学校は、保護者の悩みや相談に適切に対応してくれる。	3.3	3.2	3.2	3.4	3.3	→
	12	学校では、部活動や各種コンテスト等の指導に熱心である。	3.4	3.3	3.3	3.5	3.4	→
	13	学校はいじめのない環境作りのため指導を続けている。	3.2	3.0	3.0	3.1	3.0	↓
	14	子どもは、自己目標を持って学校生活を送っている。	3.2	3.1	3.1	3.2	3.1	↓
	15	学校の雰囲気がよく、子どもは楽しく学校生活を送っている。	3.3	3.3	3.2	3.3	3.3	→
	16	学校は、子どもの様子や健康に関する情報を伝えてくれる。	3.2	3.1	3.2	3.3	3.2	→
	17	学校では、災害時や緊急時の対応に関して指導がなされている。	3.2	3.2	3.3	3.4	3.3	↑
	18	学校は、地域に根ざした特色ある教育活動を展開している。	3.4	3.4	3.4	3.5	3.4	→
	19	専門的知識が豊富で、授業内容について信頼できる先生が多い。	3.4	3.4	3.3	3.4	3.4	→
環境教育	20	授業に必要な施設・設備が整っている。	3.4	3.5	3.4	3.5	3.5	↑
	21	学校は、安全管理や緊急時の対応など配慮している。	3.3	3.3	3.4	3.5	3.4	↑
	22	学校は、校舎内外の環境整備に努め安全である。	3.4	3.3	3.4	3.4	3.4	→
学開かれた校た	23	学校は、保護者が授業参観や施設見学をする機会を設けている。	3.2	3.3	3.0	3.3	3.2	→
	24	学校は、保護者や地域の人々に農場や体育館などの施設を開放している。	3.2	3.3	2.9	3.4	3.2	→
	25	学校は、学校内の状況を保護者や地域に広報している。	3.3	3.3	3.1	3.3	3.2	↓
	26	学校は、気軽にいけるような雰囲気にある。	3.2	3.3	2.9	3.3	3.2	→
その他	27	家庭では、毎日勉強(30分以上)するよう指導している。	2.6	2.6	2.5	2.6	2.6	→
	28	家庭では、服装やマナー・あいさつについて指導している。	3.3	3.3	3.2	3.4	3.3	→
	29	朝食は食べさせている。	3.6	3.5	3.6	3.6	3.6	→
	30	子どもは、夜12時まで寝るように指導している。	3.4	3.5	3.3	3.4	3.4	→
在籍数			189	72	62	54	188	↗
回答数			179	68	58	54	180	↘
回答率(%)			94.7	94.4	93.5	100.0	95.7	↑

## 令和7年度長崎県立北松農業高等学校関係者評価 報告

1 評価の実施期日・場所 令和8年2月24日(火) 本校 校長室

### 2 学校関係者評価委員

委員氏名	学校評議員との兼務の有無	当日の出欠
山口一平	兼務	出席
今村達也	兼務	出席
吉田祐也	兼務	出席
松本真和	兼務	出席
影本正樹	兼務	出席

### 3 学校関係者評価の内容

#### (1) 学校評価(含む生徒・保護者アンケート)の結果について

- ・全体的に生徒、保護者共に満足度が高く、ほぼすべての項目において昨年度より上昇傾向にある。また、生徒の「北松農業高校に入学してよかった」【3.4】、保護者の「子どもを北松農業高校に入学させてよかった」【3.6】とそれぞれ高い評価を得ているのは、とても素晴らしく、学校全体が活気づいている証拠であろう。
- ・外からも中からも評価が高く、良い学校であるということがうかがえる。
- ・生徒・保護者共に「授業以外で自主的に学習している」の項目が低く、家庭学習の定着が必要である。今後の指導をお願いしたい。
- ・生徒、保護者ともに昨年度と比べ全体的に数値が向上している。今後も北農ならではの経験を通して、社会で活躍できる人物の育成に力を入れてほしい。
- ・今後も生徒の学校生活の内容や活躍している様子を「SNS」や「YouTube」などを活用し、広くPRすることで、生徒募集の充実につなげてほしい。

#### (2) 学校評価の結果を踏まえた今後の改善策について

- ・北農にかかわらず、県全体として若者の県外流出が深刻である。今後も地域との密着を深め、ふるさとの良さを知ってもらい地域への就職に繋げてほしい。また、農業後継者だけでなく、農業関連産業従事者や農業大進学者が増加するような取組を今後も強く進めてほしい。
- ・権現太鼓の活躍などももっと外部へPRしてほしい。また、オランダ交流にも北松農業高校の生徒に今以上に積極的に参加してほしい。
- ・文化祭や体育祭の時の佐世保特別支援学校北松分校との交流がとても良いと思う。いろいろな経験を通して北農に進学した生徒がいると思うが、高校での生活を通して視野を広げ、自己表現できる場になっている。今後は、学校行事での交流にとどまらず、日常の授業や学校生活を通しての交流の場を広げていきたい。

#### (3) 学校の重点目標や学校評価の評価項目について

- ・重点目標や学校評価の評価項目については、現状で良いと思う。

#### (4) 学校運営の改善に向けた実際の取組について

- ・民放で農業高校の取り組みを紹介するコーナーを企画。新聞各社を含めた各メディアにもこれまで以上に働きかけていく。
- ・佐世保特別支援学校北松分校との交流のさらなる強化。